

はじめに

本日はご来館誠にありがとうございます。

今年の博物館実習生による展示は、生物・歴史・地学・民俗の4つの分野で構成されています。それぞれが平塚に関することを調べ、いろいろな形でまとめました。

生物では、平塚海岸の漂着物に注目し、実際に実習生が拾ってきた漂着物を展示しています。歴史では、金目川の水害と防災の歴史を取り上げ、これから起こり得る災害について考えました。地学は、1つの分野の中で3つの内容に分かれており、昔の平塚の地形に関すること、七夕飾りに関すること、そして十五夜に関することを展示しています。民俗では、平塚の名物である相州だるまを取り上げ、その歴史や起源を紹介しています。

例年の博物館実習生の展示とは一味違った展示をお楽しみください。

平塚海岸で
漂着物を拾ってみよう

平塚海岸と聞いて何を思い浮かべますか？
海水浴に行くという人が多いでしょうが、
また、ビーチバレーをしたりという人もい
るのではないでしょうか。
それ以外にもありますが、少し
目を凝らしてみよう。少
々なものが見えています。
ここに集っています。

ビーチコーミングのすすめ
漂着物を探し、観察したり、コレクション
したり、アート作品を作ったりして楽しむこ
とを「ビーチコーミング」と呼びます。
もともと海産物の利用を生活の糧にする
ことを意味する言葉として使われていたよう
ですが、現在は趣味として楽しむ活動とし
て使われています。

ビーチコーミングに行くには
どこに行くか
ビーチコーミングはどこの海岸でも楽し
むことができますが、打ち上げが多くてもビ
ーチコーミングに良い場所が数箇所あります。
つまり、平塚海岸のような砂浜はビ
ーチコーミングに適した海岸です。

いつ行くか
夏は海水浴のために海岸が混雑すること
が多いので、朝から早に付けて行くとい
う。時には波が高い日も多いのでサ
スメの季節です。

何を拾っていくか
靴箱の中に入れて持ち帰って行きまし
ょう。スニーカーがベストです。また、履
きやすい靴を入れるために、小さなスリッパ
などがあれば便利です。
夏には帽子も、手には十分な防寒着を持
っていくようにしましょう。

きれいな貝
海岸で拾ったきれいな貝殻の中には美しいもの
があります。ピンチのときはきれいな貝殻を
ピンチングして持ち帰ってきましょう。

自然の美
自然の美は自然の恵みです。アサリや
ハマグリは、アサリやハマグリは、夏
に食べるとおいしいです。アサリやハマ
グリは、アサリやハマグリは、夏
に食べるとおいしいです。

ツマヤシイ
ツマヤシイは、アサリやハマグリは、夏
に食べるとおいしいです。アサリやハマ
グリは、アサリやハマグリは、夏
に食べるとおいしいです。

あなごの空いたクルミ
平塚海岸ではあなごの空いたクルミが
落ちてくる場合があります。
こんな面白い食べ物も
一つあります。

これはリスやアカネズミと
いったげっ歯類の食べ物です。
こうしたげっ歯類の生活の
場も見ることもできます。

白い殻？
海産物を探しているときに見つかるこの白い殻は
アサリです。
アサリは、アサリは、夏
に食べるとおいしいです。

これはイカの甲です。甲というのはイカの殻に入
っている、いわば骨のようなものです。
イカの甲は、イカは、夏
に食べるとおいしいです。

アサリの殻
アサリの殻は、アサリは、夏
に食べるとおいしいです。

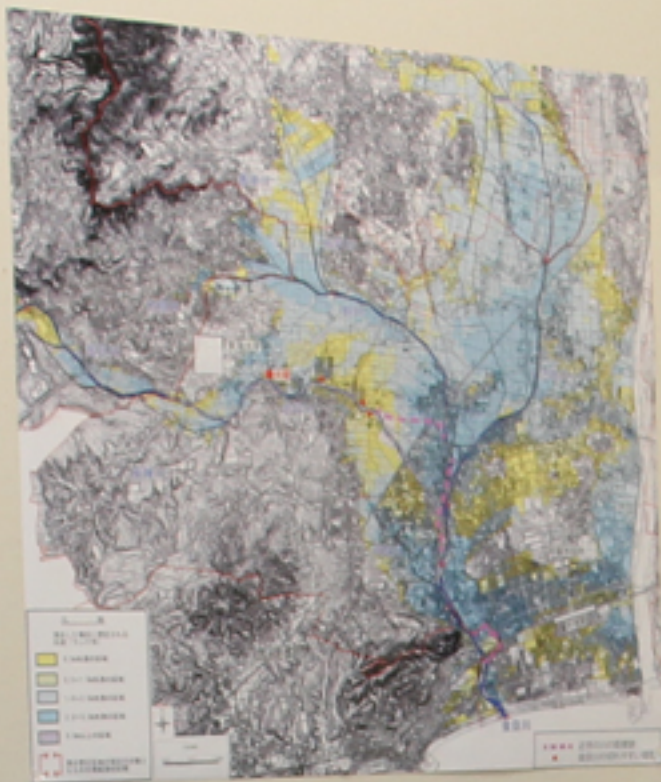
アサリの殻は、アサリは、夏
に食べるとおいしいです。

ビーチコーミングアート
ビーチコーミングアートは、アサリやハマグリは、夏
に食べるとおいしいです。

ビーチコーミングアート
ビーチコーミングアートは、アサリやハマグリは、夏
に食べるとおいしいです。

かなめ
金目川と生きる

金目川は妻野市から平塚市西部を流れています。
天井川といわれるこの川は、古くから水害の起きやすい川でした。
それでも共に生きていくため、人々はさまざまな工夫をしてきました。
そして、これからも共に生きていく。



ハザードマップって見たことある？
ハザードマップは、自然災害発生時の被害状況を予測した地図のことです。
この地図は平塚市の被害状況の予測を基に作成されています。
現代の高度でも自然災害は起こる可能性があります。
自分の住んでいる地域を確認して、どういった災害が予測されるのか確認してみてください。
このほかにもいろいろなハザードマップが作成されていますのでご覧ください。

北金目村松園
最も多く決壊したのが大塚堤でした。
慶長14年(1607)に徳川家康が参陣した
といわれ、以来「御所様御入道山手之堤」
と「御所様」とも呼ばれています。

北金目村松園
大塚堤
御所様御入道山手之堤



平塚が無かったころ

七夕飾りの意味

秋の夜長に お月見をしよう

高橋や古川で、6000年前のくころ見つかりました。こんなにはいきたのせいか、それとも昔入はこまで運んでいたか



実は、この美しい範囲は全部海だったのです！昔の家はどの辺り？海の底だったかもしれないですね

古い餅は、約 6000 年前の海産物を示したものです。平塚市の平塚部（相模平野）はほとんど海だったのです。では、どうやって今の相模平野ができたのでしょうか？

①海面が低くなった
6000 年前は今より遙かに、海抜など大層の氷が少なかったため、その中海水の高さが多かったのです。しかし、氷が溶けて大層の氷が少なくなると、海水は減り、海面は引いてしまいました。

②地盤が高くなった
平塚市のある相模平野下流自津が、海面上がるたびに盛り上がり、6000 年前より 30m くらい高くなっているのです。

③砂が溜まった
海面上がると、地盤も高くなったことで、海は遠くなりました。それにより、波が運んで来た砂が少しずつ溜り溜りしていき、平塚の平野は益々高くなりました。

七夕伝説
昔、織姫と彦星は天の川を隔てて暮らしていた。二人は毎日涙を流して天の川を渡り、一年一度だけ逢瀬をした。天孫降臨の日に、二人は天の川を渡り、一年一度だけ逢瀬をした。天孫降臨の日に、二人は天の川を渡り、一年一度だけ逢瀬をした。



織姫と彦星の結人形
七夕飾りには、織姫と彦星の結人形が飾られます。これは、二人の逢瀬を願うための飾りです。また、短冊も飾られ、願い事を書かれます。

みんなお月見ってしたことある？
お月見は、秋の夜長に家族や友人と一緒に楽しむ伝統的な行事です。月見団子や月見酒を食べて、月を眺めます。



お月見ってどんなことをするの？
お月見は、秋の夜長に家族や友人と一緒に楽しむ伝統的な行事です。月見団子や月見酒を食べて、月を眺めます。

お月見をするのはいつ？
お月見は、秋の夜長に家族や友人と一緒に楽しむ伝統的な行事です。月見団子や月見酒を食べて、月を眺めます。

なにを飾ればいいのか？
七夕飾りには、織姫と彦星の結人形、短冊、流しなどが飾られます。また、月見には月見団子や月見酒が飾られます。

お月見をしてみよう
お月見は、秋の夜長に家族や友人と一緒に楽しむ伝統的な行事です。月見団子や月見酒を食べて、月を眺めます。



相州だるまの足あと

関東のだるまたち

高崎だるま
日本でもめて作られた最初のだるまです。多摩川を渡り、江戸は舟で運ばれて、船の機軸に塗られた漆で塗られています。

白河だるま
(福島県白河市)
多摩川が長く、船が川を下りたての漆を塗っています。

武州だるま
(埼玉県)
顔が白く、目の色がはっきりしていて、物は多く作られています。

静岡だるま
(静岡県静岡市)
だるまの顔は赤く、髪はピンと張っています。目が大きく、赤く塗られています。

相州だるま
(神奈川県平塚市)
多摩川を渡り、船が川を下りたての漆を塗っています。

相州だるまって？

相州だるまの歴史

相州だるまとは、平塚市名産の福起だるまです。福起だるまとは、家内安全や無病息災、合婚祈願などの人々の願いがこめられて、家庭に飾られるだるまのことです。もともと平塚市では、だるまを多摩川から仕入れて売っていましたが、明治中期になってからは作り方が伝えられ、平塚市でも作られるようになりました。

相州だるまを作っているお店は、神奈川県内でも昭和50年代で10軒以上ありましたが、現在では本家・長崎屋商店、長崎屋ダルマ物産、虎井だるま屋の3軒だけです。

相州だるまの昔と今のちがいがい

ふたつのだるままで、ちがうところはどこでしょうか？ 昔の相州だるまは顔が左右対称ではなく、凸凹がありますね。しかし、今のだるまには凸凹がなく、きれいな形をしています。

それはなぜかというと、作り方がちがうからです。昭和50年以前は木型に粘土で貼って顔を作り、乾燥させていましたが、現在は大量生産するために、「真空成型」という方法で作られています。「真空成型」とは、金網の型に紙を押しこんで作る方法です。

相州だるまの特徴と種類

相州だるまの特徴は、顔が白く、目のふちに黒線がついており、髪がピンと伸びる顔が特徴です。また、相州だるまには、「目だるま」、「髪だるま」、「おめだるま」などの種類があります。特に「髪だるま」は全国的にもずらしいだるまです。

おわりに

相州だるまの歴史や特徴についてご紹介しました。相州だるまは、関東各地で愛されているだるまです。ぜひ、相州だるまの魅力を味わってください。

